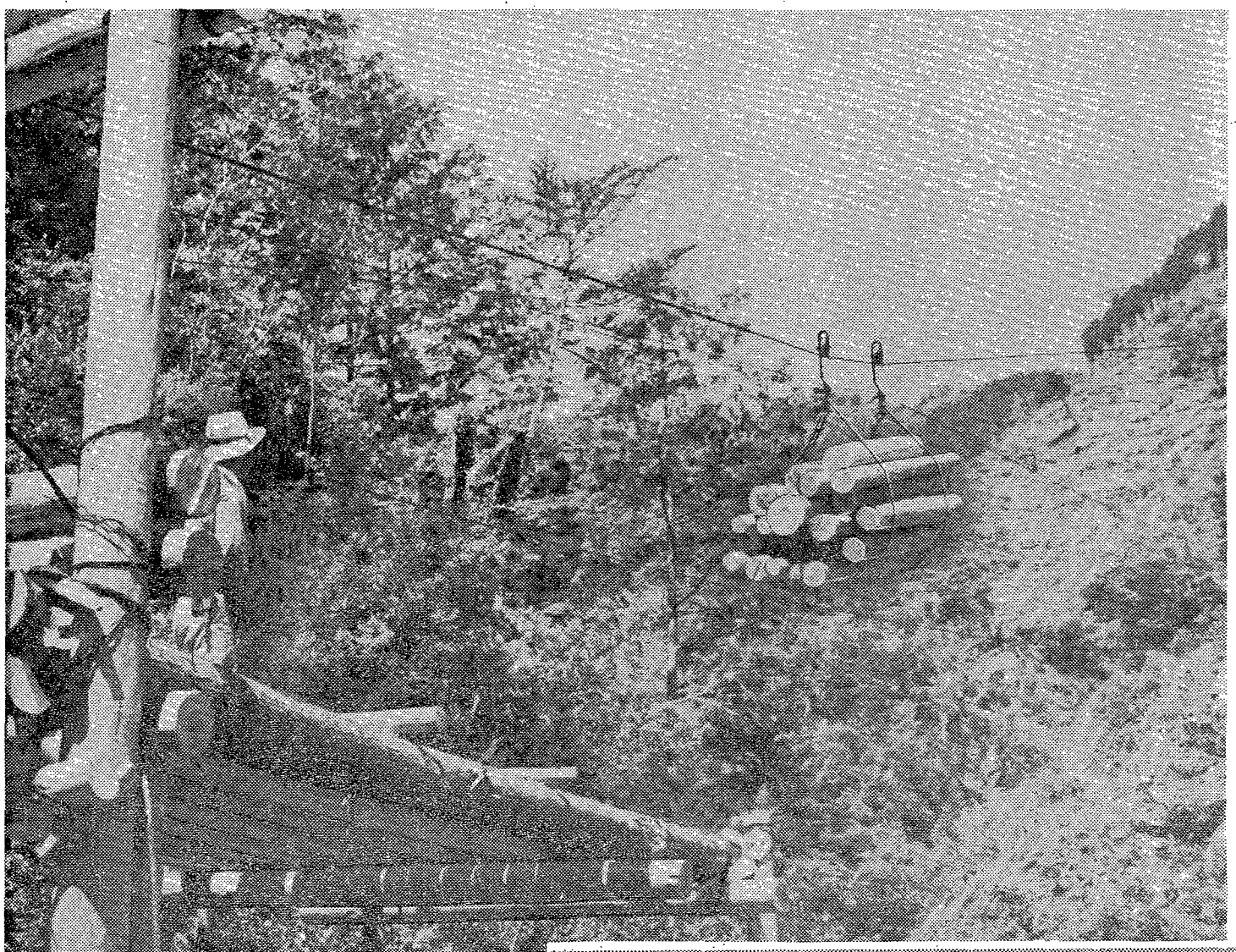
昭和41年 6

県民の友

毎月1日発行　第338号

発行所　和歌山市小松原通1丁目1番地
和歌山県知事室広報課

印刷所　和　歌　山　新　聞　社



紀州〝木の国〟――その名のとおり県土の七十七㌫、総面積三十六万㌶におよぶ本県の林野。

そこには、きょうもすくすくと成長を続ける木々……

県内産業の重要なにない手としての林業、この振興のために県は重点施策のひとつとして強力に事業をすすめています。

林道に、構造改善に、そして振興山村特別開発に――

以下、本県の林業対策について説明しましょう。

木の国の課題　林業振興

のびゆく林道

林業振興施策で、まず考えられるものは林道の整備です。

本県では、終戦このかた重点施策として積極的にすすめてきました。

その結果、構造、規模ともに面目を一新した林道施設が数多く整備され、木材輸送のほとんどがトラックでおこなわれるようになりました。

これらの林道開設は、護摩壇山を中心とする伊都、有田、日高の各郡にまたがる地域、および大塔山を中心とする西牟婁、東牟婁の両郡にまたがる地域を重点として実施され、森林資源の開発や、林業経営の改善に力強い役割を果していますが、観光資源開発にも一役かって山村の経済振興と文化交流の動脈となっています。

県ではさらに、昭和四十五年までに五百五十㌔の林道を開設し、産業道路として林道網を整備し、約四万三千㌶の森林開発を計画しています。

すすむ構造改善

林業構造改善事業は、林業のすべての生産を増大し、他産業との格差是正に努めるとともに、林業に従事する人々の所得をたかめようとするもので、事業は町村が実施し、国・県がこれを助成しています。

事業の内容は、末端の林道の開設に重点を置き、林業経営の近代化と生産性の向上のため機械化をすすめ、協業活動を推進するとともに、経営の合理化をはかるためいろいろな事業を計画し実施していくものです。

すでに、西牟婁郡大塔村と日高郡中津村が、昨年度から三ヵ年計画で事業に着手し、伊都郡高野町、有田郡金屋町、西牟婁郡中辺路町の三町が、ことしから四十三年度まで事業を実施することになっています。

振興山村特別開発始まる

山村振興法が制定され、これにもとづく山村振興事業がいよいよはじめられようとしています。

この事業は、いわゆる山村に住む人々の所得を向上させるため、従来よりおこなわれている構造改善事業や、林道、土地改良、その他事業などの有機的連けいをはかり、これらの対象にならない小規模のものを対象にするとともに、このほかワサビ田、梅畑、桑畑、茶畑などの開

以上のほかに、造林、特殊林産物の振興、林業労務者対策があげられます。

造林では、助成の拡充により昭和四十五年までに四万㌶の拡大造林をおこない再造林を含めて六万八千㌶を推進する計画です。

特殊林産物では、山村における副業的現金収入源を増大するよう努めますが、最近とくに増産されている「しいたけ」の栽培については、不時栽培施設や乾燥施設の設置助成をおこなっています。

いろいろな角度から

そして林業労務対策では、就労の不安定、社会保障制度の適用困難、老令化等の問題を解決するため、町村、森林組合を中心とした協業経営による労務班組織の育成を推進していますが、これが実施できれば、山林労務者の方々には一大福音をもたらすことになり、ひいては林業振興に大きく寄与することでしょう。

飛躍をねがって

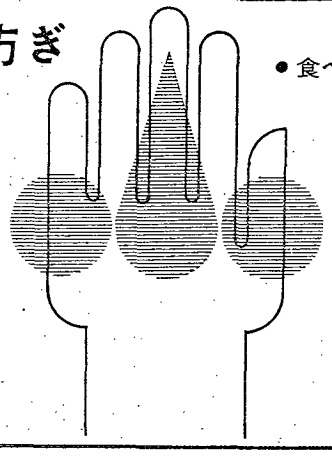
和歌山県の林業は、いま大きく飛躍しようとしています。

良い苗を育てるため、母樹を指定し、よい種子を配布するとともに、苗木の需給調整をおこなっています。また、造林には補助を、手入れ管理には融資をおこない、伐採搬出には林道を整備しています。一方、林業振興のため森林計画を策定し、森林保全と水源を養うために保安林の指定と治山事業を推進し、生産性をあげるため近代化を促進しているのです。

森林のもつ働きを高め、そして、紀州〝木の国〟をささえるために。

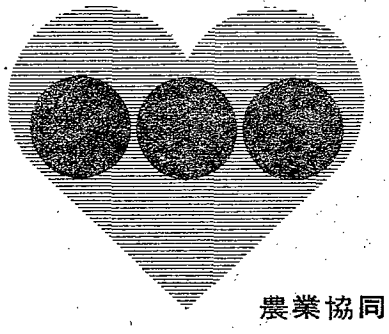
食中毒を防ぎましょう

予防は、まず手洗の励行から



●調理は清潔に
●食べものはなるべく早く
●充分に火を通して
●保存は10℃以下の冷蔵庫で

自動車をお持ちの皆様へ



自動車共済で安心のある運転を……

くわしいことは、もよりの農協へ

農業協同組合・和歌山県共済農協連

前進する府県合併

府県合併特例法案 国会に提案される

昨年九月、第十次地方制度調査会が、「府県合併に関する答申」を内閣総理大臣に出してから、政府は積極的に府県合併問題ととりくみ「府県合併特例法案」の準備をすすめ、成案を得て四月二十二日に閣議で決定、二十五日国会に提案されて目下審議されています。

これについて、昭和三十年春以来

新しい時代に見合った府県づくりのために

府県間の格差をなくし、すみずみまでゆき届いた行政をすすめ住民福祉を増進するために

地方自治を守り、より住民自治、団体自治を強固なものに確立させるために

と、阪奈和合併を提唱してきた小野知事は、次のような談話を発表しました。

地方自治制度上の画期的な方向づけ

（知事談話）

『本日「府県合併特例法案」が国会に提案されたことは、府県合併実現への前進であり、地方自治に生き、県民のしあわせを願って早くから合併の必要性を主張してきた私にとって、まことによろこばしいところであります。

また、法制上の欠陥を補正し、住民自らの発意により実行しうるよう自主合併のみちを開いたことは、地方自治の立場から考えると、むしろ当然のことながら、わが国地方自治制度に新しい転機と前進を方向づける意義深いものであって、県民各位とともによろこばしくおもいます。

ただ内容的には、若干物足らないところもないではありませんが、要するにこの法案の性格・趣旨を十分生かすよう関係府県や政府が実現に移す段階で努力すべきであろうと考えます。

府県合併は、ただ単に阪奈和や、東海三県などの問題だけではなく、提案理由にも述べているように「府県の区域をこえる広域行政の合理的かつ効果的な処理および府県の能力の充実強化に資するため、関係法律の特例を定める等の措置により、府県の合併が自主的におこなわれることを容易にする必要がある」ということで、わが国地方制度の画期的な方向づけの問題として、残された会期中に十分審議を願い、ぜひとも今国会で法律が制定されるよう強く願うものであります」

□住民の意志で合併できる□

この知事談話でもふれているように、現行制度の中では、国が一方的に府県の合併計画を樹て、画一的に合併を命令しておこなう以外は、いくら府県住民が合併することをねがい、その意向が高まっても合併のみちが開かれていないところに地方自治法制定当初からの問題点があり、論議されてきたところであります。

しかし、この法案によって、府県住民の意志で、府県議会の発議によって府県合併ができるという自主合併のみちが開かれるということになったことは、わが国地方自治制度において画期的な方向づけと、新しい前進を示したもので、まことに意義深いものがあります。

内容については、府県合併の障害となるような問題をできるだけ取り除くということで、たとえば国会議員、府県議会議員の選挙区や定数の問題、府県庁職員の身分保障、さらに地方交付税などの財政的特別措置などを規定し、また府県合併にともなう財政的援助や起債なども国ができるだけの措置をおこなうことなど、積極的な内容が含まれています。

有効期限も十ヵ年として、十年以内に合併した府県にこれらの特例が適用されることになっています。

□自治省も積極的□

また一方、「府県合併に関する答申」を受けた政府は、「府県合併特例法案」の今国会での成立を図ろうと努力しているとともに、答申をより具体化するために、

合併についての具体的構想

具体的な地域についての調査の基本方向

合併についての気運の醸成

などについて、意見を求めるため、自治大臣の特別顧問を任命し、数回にわたる顧問会議や、現地調査を経て、阪奈和地区を対象とした現状および府県境のあることによる問題点とその除去、合併後のビジョンなどについて、昭和四十二年度末までにつくりあげる方針を決め、また、四月はじめ自治省に「府県合併問題担当調査官」を置き、府県合併問題についての窓口を設け、指導にあたる体制を整えました。

本県でも、本年度に府県合併にともなう三府県の現状分析、問題点の把握、合併後のビジョンなど総合的なマスタープランをつくるために、法律、経済、地域開発、地方財政などの専門家からなる府県合併に関する特別顧問を設けて、積極的に阪奈和合併実現を推進することになっています。

しあわせ計画の柱

公団・供給公社とともに

住宅対策

「社会開発」ということばがよく聞かれます。このことばを一口で言いかえると「しあわせ計画」ということです。

県がおこなう仕事で、しあわせ計画の一ばんの軸となるものは、生活の場つまり生活環境をつくることです。そして、そのまた基本的なもので最も大切なものに住宅対策があげられます。

ことし、県がおこなう住宅施策を中心に話を進めてみましょう。

≪六一、一二≫――昨年十月の国勢調査でわかった県下の総世帯数です。

これは昭和三十五年からみるとなんと二万三千世帯以上の増加ぶりです。

親元を離れて独立した世帯、他府県から移住してきた世帯などがこれだけあったということで、これを単純に住宅問題と結びつけて考えると、この五年の間に、二万三千戸近くの住宅需要があったとみることができます。

それ以外に、狭小住宅、老朽住宅に住む人たちの需要を加えると、この数はまだまだ大きなものであったでしょう。

さきにたてた県の長期計画によると、昭和三十九年当時の県内住宅の不足数は約五万三千戸と推計されています。昭和四十五年までに、この不足数をゼロにし、今後ますます増える需要を満たして、一世帯一住宅を実現しょうというねらいをたてました。

この目標のもと、県ではことしもさらに公営住宅をふやす一方、県住宅供給公社の事業を活発にし、日本住宅公団による住宅建設を促進していきます。

□□□□
県下で四百六十戸
――公営住宅――
□□□□

昭和四十一年度中に建てる公営住宅は全部で四百六十戸です。

うち県営分は七十二戸で、和歌山市紀伊団地に四階建て鉄筋コンクリート造りのアパート三むね（四十八戸）、郡部ではとくに住宅不足が目立っている御坊市と伊都郡かつらぎ町に、それぞれ十二戸づつのプレハブ住宅を建てることになっています。

市町村営では次のとおりです。

和歌山市＝百六戸、海南市＝十三戸、橋本市＝二十四戸、御坊市＝二十四戸、野上町＝十戸、粉河町＝二十戸、那賀町＝二十戸、桃山町＝二十五戸、かつらぎ町＝二十八戸、高野口町＝二十三戸、九度山町＝二十五戸、高野町＝十戸、金屋町＝十戸、南部町＝十戸、印南町＝二十戸、白浜町＝十戸、太地町＝十戸、計三百八十八戸

□□□□
積み立て分譲開始
――県住宅供給公社――
□□□□

県下の労働者を対象とした持家住宅を供給する県住宅供給公社が昨年度設立されました。

設立してから五年目をむかえている県開発公社は、この間に住宅用地の造成にめざましい成果をあげました。紀三井寺団地をはじめ、県下六地区で合計約三千戸分もの住宅用地を造成し、県民にひろく供給してきました。

さらにことしは、田辺地区と和歌山市川永地区で造成事業をはじめます。

□□□□
アパート千戸目標
――日本住宅公団――
□□□□

昨年から県で初めての日本住宅公団による住宅建設がすすめられています。場所は和歌山市鳴滝団地、その第一次募集百二十戸分の抽せんはさきごろ終わり、十月に入居できる予定です。

さらに、第二次分百九戸を七月一日から七日までおこないます。

いよいよ本年度から事業を始めます。

まず、和歌山市鳴滝団地に建てる分譲住宅約五十戸の入居者募集を近くおこなう予定です。

ひきつづき、和歌山市小倉団地でも約百戸を募集する予定です。

これらは従来の分譲住宅のように頭金を即金で払う方法ではなく、一年積み立ての満期分譲とする予定です。

そのほか、昭和四十二、四十三年に建てる川永団地、鳴滝団地の分譲住宅についても、本年中に募集する計画をしています。二、三年の積み立て方式の予定です。

□□□□
アパート千戸目標
――日本住宅公団――
□□□□

昨年から県で初めての日本住宅公団による住宅建設がすすめられています。場所は和歌山市鳴滝団地、その第一次募集百二十戸分の抽せんはさきごろ終わり、十月に入居できる予定です。

さらに、第二次分百九戸を七月一日から七日までおこないます。

このあと、昭和四十二年六月ごろ完成の予定で約三百七十戸の建設にとりかかります。

ゆくゆくは同団地に約千戸建てる目標で、上水道、ガス完備、シヨッピングセンターやその他の共同利便施設もそなえた近代的な住宅地になることでしょう。

□□□□
十二億円で千五百戸
――住宅金融公庫――
□□□□

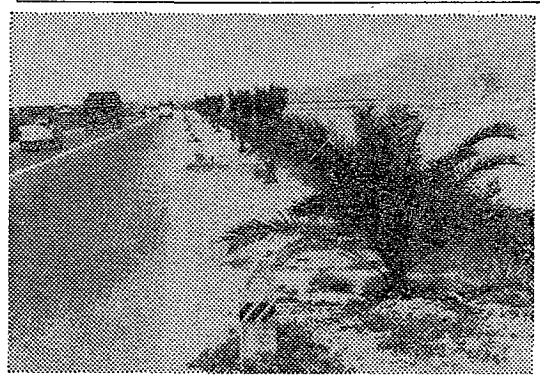
住宅金融公庫の融資は次の千五百戸、金額にして約十二億円が見込まれています。

中高層住宅	百戸
産業労働者住宅	二百戸
一般住宅	七百戸
農山漁村住宅	四百戸
分譲住宅	百戸

□□□□
田辺・川永にも宅地
――県開発公社――
□□□□

設立してから五年目をむかえている県開発公社は、この間に住宅用地の造成にめざましい成果をあげました。紀三井寺団地をはじめ、県下六地区で合計約三千戸分もの住宅用地を造成し、県民にひろく供給してきました。

さらにことしは、田辺地区と和歌山市川永地区で造成事業をはじめます。


有田川ぞい国道のフェニックス

紀州路を花いっぱいに

紀州路を花とみどりで飾るため、と県はこのほど国道四十二号線の沿道にフェニックスやハマユウなどを植えました。

昨年四月、和歌山―白浜間の国道四十二号線の舗装完成とともに快適なドライブウェイと美しい海岸美をたすねて、訪れる行楽客はふえる一方です。

この美しい道を、より美しく、訪れる人に紀州の情緒を心ゆくまで楽しんでもらおうと、計画をねっていたもの。

ことしは、有田川堤防、御坊市堤、印南浜、新切目橋付近フェニックス百五十本、タチナシ、ツマユウなど約二千本を植えます。

すでに、有田川堤防ぞいに植えられた高さ一・五㍍のフェニックス、カナリエンシス三十三本は、有田川の清流とあいまって道行く車の窓べにすがすがしい緑を添えています。

来年春ごろからは、ツツジ、ハマユウなどが花をつけ始め、沿道のところどころは、色とりどりの花で埋まることでしょう。

白浜以南新宮までの国道も昭和四十三年三月に全線舗装で開通します。万国博までには山の緑、海の青のおりなすこの紀州路全体に、もうひとつ、花と木の南国ムードを添えて、外国観光客を誘致しようという計画です。

現在、国道四十二号線に続いて高野竜神スカイラインにも桜の木を植えています。三年計画で約五千本の桜を植え、桜団地や桜トンネルを作ります。

道がよくて、花いっぱいの紀州路へ〝またこんども連れて行こう〟の合いことばが、本県を訪れる観光客に口ずさまれる日もま近いでしょう。

冷房　公安委員会指定　完備
県自動車学校
・スクールバスで送迎
入校日　普通本科(昼間) 6月20日 7月8日　(夜間) 6月13日 7月1日
遠成科随時入校（2輪免持以上）
所在地　和歌山市園部(試験場隣)電話(有功局)160・161
お申込みは学校または各連絡所へ（電話受付します）

積立預金をはじめましょう
毎月一定額のお積み立てには《サンワ》みどりの会
期間も金額もご自由《サンワ》自由積立預金
みなさまのお役に立つ
三和銀行

紀見トンネル まもなく着工

伊都

橋本市から大阪府高槻市にいたる二級国道百七十号線の改修工事が始まります。

昨年度からボーリングなどを行ない地質調査中であった紀見峠のトンネルは、この調査が終わりしだい、三ヵ年計画で工事に着手します。

このトンネルは橋本市杳掛(くつかけ)から河内長野市上天見までの延長約千五百メートル、幅七・五メートルのもので、約九億円の工費が予定されています。

開通後は、現在のつづら折れの峠道五・三キロは約二・一キロの直線コースになり、トラックなどであれば約三十分もスピードアップされます。そして、大阪地方との連絡もさらに緊密になり、紀北地区の産業・交通に著しい効果が期待されます。

また、県道高野—高野口線のあい路であった九度山町椎出(しいで)付近の拡幅工事が昨年度で終わり、大阪から高野山までの伊都地方縦断自動車道が貫通しました。

夏の行楽シーズンを目前に、京阪神の観光客は、霊場高野山からスカイラインへと車に乗ってスマートにくりこむことでしょう。

老人のしあわせをねがって

和歌山 海草

“幸せな老人になるために”と野上町下佐々と志賀野の二地区の老人クラブでは、昨年度から「高令者学級」を開き、六十の手習いをはじめています。

この「高令者学級」は、文部省から委嘱を受けた野上町が開設したもので、県下でははじめてのこころみです。

おとしよりに、ただ古いしきたりを守るだけでなく、時代にふさわしい知識を身につけ、だれからも理解され、愛され、しあわせになってもらおうというのが、この学級開設の目的です。

昨年度は、毎月二時間の学習会を開き、学校の先生の話や長老の体験談を聞いたりして、社会の動き、家庭の人間関係、新しい教育のあり方などを学びました。

また、夏には八幡(はちまん)さんの境内で林間学校を開くなど、若い学生顔負けの活躍ぶりでした。

参加したお年寄り六十人の出席率も上々で、町公民館北野社会教育主事に、一年間の成果をうかがうと、

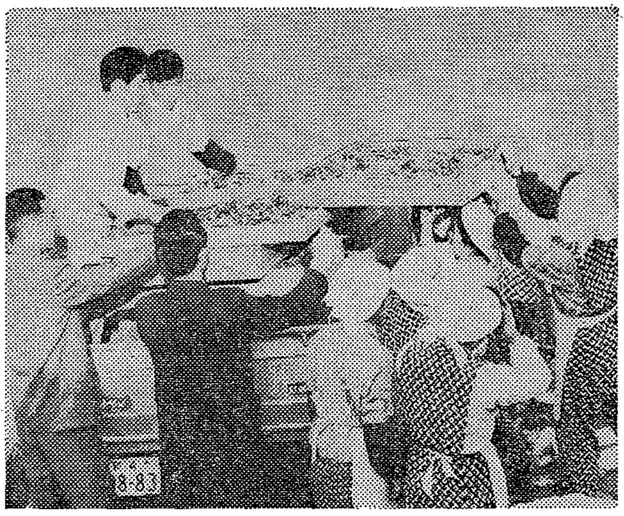
「なによりも、まわりのお年寄りを見る目が変わってきたことです。若い人の意見に耳をかたむけたり、保育所見学でお孫さんの当世風のしつけ方を覚えるなど、家庭でも話の分かるおじいさん、おばあさんとして明るく暮らしています」

野上町では、現在、二十四(百二十五人)の老人クラブがあり、県下でも進歩的なものとして知られています。

健康診断の完全受診、老人だけの運動会、また、ことしは高令者学級生を中心に歩け歩け大会を計画するなど、心身ともにはつらつとした現代老人ここにありと張り切っています。

おかいこさん　グンと伸びた生産　山村振興の一役になって

東牟婁



共同飼育場から各農家へ運ばれるかいこ

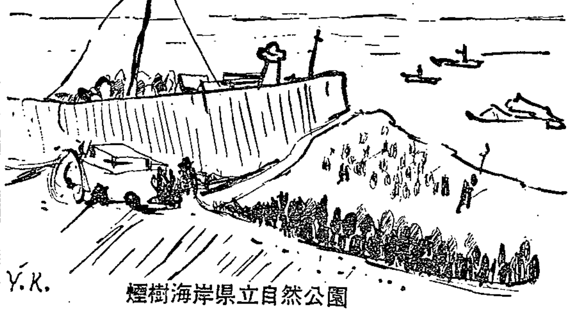
本宮町では、いま春蚕のまっ最中です。かつては“いかだ流しか、おかいこさんか”とまでいわれたほど、蚕は本宮町の生活をささえる大きなにない手のひとつでもありました。戦後の経済状勢の変動や化学繊維の発達におされて、養蚕も斜陽化の一途をたどり、加えていまひとつの収入源“いかだ流し”もダムの建設などにより、その姿を消し、わずかな田畑や山林労務が唯一の収入源という辺地なるがゆえの大きな悩みをかかえていました。

しかし数年来絹織物の需要がのび再び蚕が脚光をあびてきました。ここ本宮町でも、かつての経験にものをいわせて、いちはやく積極的に養蚕と取り組んでいます。三十八年以来農業構造改善事業で、養蚕をとりあげ、いま百二十九戸の農家では桑園二十六ヘクタール、年間まゆ八千七百キロ、六百万円の収入をあげています。

養蚕といえば手間のかかるものと考えられていましたが、いまではすっかり近代化されて、ほとんどの作業が共同でおこなわれ、女子や子どもで十分に世話ができ、生産量も昔にくらべて、グンと伸びています。

伏拝、切畑、寺台、栗垣内、高山地区では、主婦たちが中心となって、蚕業指導員の指導のもとに共同飼育に精を出しています。協業化は構造改善の大きなねらいです。労力をはぶき、規模をひろげ、増産、生産コストの引き下げに大きく役立つわけです。一方販売面では、まゆの価格の安定が法律で保証され、いままでのような価格の変動の不安がなくなったことは農家にとって大きな福音となっています。本宮町では、桑園五十ヘクタール、生産量五万キロを目標に意欲を燃やしています。山村振興の大きなにない手の活躍に期待したいものです。

北から南から



煙樹海岸県立自然公園

海を仕切って さかなを飼う

西牟婁

田辺市目良の海に、広さ四十万平方メートルにおよぶ人工養漁場が誕生します。

新養魚場は、目良地先から四百メートル離れた元島までの入江を堤防で仕切ったものです。

最近は、県下でも天然の養漁場はほとんど開発され、養殖漁業も頭打ちの状態です。

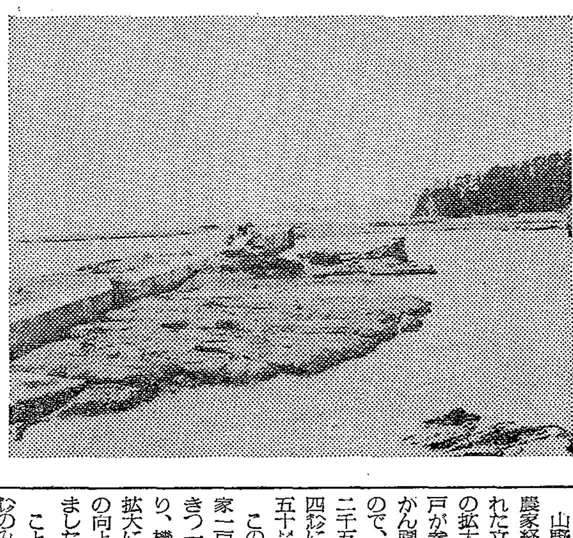
この打開策として、江川漁業協同組合(組合員九百六十三人)では、昨年八月から県下ではじめての人工養漁場を建設していました。

新養漁場のかなめである堤防もほぼ完成。まもなくハマチ、イセエビ、真珠貝などの集団養殖を始めます。

同漁協では、将来年額一億七千万円余の水揚げを予定しており、すでに漁業構造改善事業で完成した水揚げ荷さばき施設、製氷冷蔵庫、建設予定の魚加工場とともに一連の生産加工施設を整え、近代化漁業へと堅実な歩みを進めています。

また、観光開発にも力を入れ、田所島に釣場やレストランを建設、スポーツセンターのヨットハーバー基地になる元島とともに、釣客や観光客を誘致する計画もあります。

人工養漁場のかなめである防波堤はほとんど完成



貯蓄でうるおう豊かな家庭

有田

さる四月二十二日、有田郡市内の関係官庁・金融機関あわせて六十二機関が、有田貯蓄推進協議会を結成しました。

県には貯蓄推進委員会がありますが、郡単位のものはこれが始めてで全国的にもめずらしいケースです。

貯蓄推進運動はたんなる勤倹貯蓄思想の普及でもなく、消費節約運動でもありません。それぞれの暮らしの中で貯蓄しようとする自発的意欲を住民の間に盛り上げる運動です。

この協議会では、住民に貯蓄の重要性を自覚してもらい、みずからの努力によって、あるいはグループを形成して貯蓄を呼びかける計画です。

ことしの実行目標は次のとおり。

①貯蓄実践地区の育成指導、座談会、講習会、研究会の開催。
②うるおいのある暮らしへ、目的貯蓄、計画貯蓄の奨励。
③生活の設計と消費の合理化のため家計簿の全戸記帳の奨励。
④貯蓄グループ、こども銀行の育成、強化。

いま、県下で貯蓄増強特別運動が展開されています。県下初の貯蓄推進協議会に住民の力強いご協力をお願いします。

もう安心・一手にひきうけて

＝那　賀＝

「衛生センター」の愛称で親しまれている那賀郡衛生施設事務組合は、郡内のし尿処理を一手に引き受けています。

この施設は、郡内六町の共同経営で、昭和三十九年七月、清掃区域内人口三万三千人余のうち、し尿汲み取り希望者を約七千キロリットルとみて、一日四十キロリットル(四万人分)の処理能力を持つ消化施設と、運搬車七台で創業。打田町上野に浄化のための近代的施設をつくり、住民をアッといわせたものです。

それからおよそ二年、昨今では衛生思想の普及や化学肥料の発達にともなう農業形態の変化などで、区域内のほとんどの家庭が便所の汲み取りを希望するようになり、古い設備だけでは処理できない状態になって来ました。

この悩みを解消するため、同じ規模の消化そう(直径十一メートル、高さ十五メートルの円筒)を、建設費二千八百万円をかけ増設中でしたが、このほど完成。これで郡内のし尿処理は完全です。

衛生センターの職員一同、住民の便所を美しくしようと大張り切り。赤色のバキューム車もフンづまりの心配がなくなり元気百倍、地区内をかけまわっています。

ご用の方は、電話打田局一七九へどうぞ。

化学工場をおもわせる衛生センター

川辺町開拓パイロット完成

日高

みかんの花咲く町川辺町では、昭和四十年度の事業として山野地区の山林を町営開拓パイロット事業で開墾し、みかん園を造成しました。川辺町では古くからかんきつの栽培が盛んで、町産業の基幹作物にもかんきつ、特に「夏みかん」を選定しています。また昭和三十九年度からは、夏みかん、温州みかんの栽培・育成資金として借り入れた公庫資金に町が三分の利子補給をするなど、果樹王国をめざす努力を続けています。

山野地区の開拓パイロットは、農家経済の安定を図るため、恵まれた立地条件を生かして経営面積の拡大をはかろうと、関係の二十戸が参加、入会山林を開墾し、みかん園を造成することになったもので、事業は昨年十一月に着手。二千五百九十六万円の費用で、十四ヘクタールに農道二千百メートル、耕作道路千五十メートルを新設しました。

この事業の完成により、関係農家一戸当りの平均経営面積がかんきつ一・四ヘクタール、水田〇・二ヘクタールとなり、機械化農法の実現、経営規模拡大による所得の増加と生活水準の向上に大きく役立つことになりました。

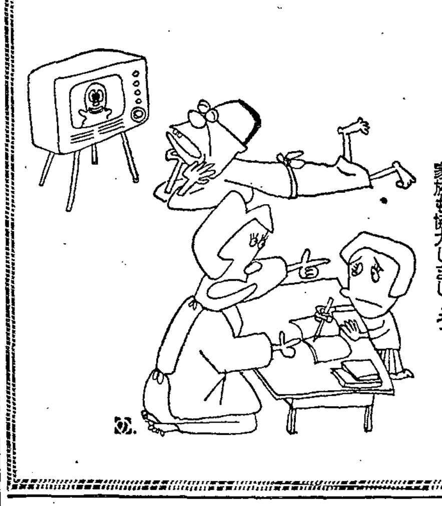
ことしも同町千津川地区に十二ヘクタールのみかん園を造成します。

日高郡では、すでに日高町高家と印南町丹生地区でも行なっており、これで三十八・五ヘクタールのみかん園が造成されました。

さらに、県営開拓パイロット事業で御坊市名田地区で八十四ヘクタールのみかん園を昭和四十二年度から造成する予定で、現在調査中です。

楽しい「家庭づくり」

遊びと勉強の時間をはっきりし
家族も協力しましょう。



和歌山で初めての紳士服の製造直売!

高級紳士上下服
モーニング
ブレザーコート
替ズボン
98サイズ、どなたもぴったり

現金なら一着分のご予算で二着買えます
さかえ屋はなぜ??<すばらしい品>が<安い>??
メーカー ⇒ 問屋 ⇒ 小売店 ⇒ 消費者のみなさま　これが一般の流通機構
メーカーさかえ屋 ⇒ 消費者のあなた　直接販売　さかえ屋のこのシステムにはムダがありません
全商品の生地縫製に3ヵ年保証と1年間の火災、盗難、破損の保険がつきます。(グローリー紳士服製造元)

Glory MEN'S WEAR
さかえ屋株式会社
和歌山市新通り5丁目(新通り電停北入ル50m)和歌山代表 31 2351

毎月百200円で立派な結婚式!
■お払込金は毎月200円　60回継続　計12,000円
1年分前払の場合1ケ月割引

但し
市外の方で和歌山市で結婚式をされる方の相談をさせて頂きます。
ご一報次第案内書を送付致します。

縁談結納の話がある方の男女を耳にしますと、互助会へ住所氏名を御知らせ頂ければ粗品を差し上げます。

連盟公認　和歌山市本町三丁目　電話㉓0280
和歌山市冠婚葬祭互助会

外務 集金員 募集

紀州犬 を育てましょう

このたび、郷土の文化財天然記念物"紀州犬"の保護育成団体《紀州犬保存会》が、文化財保護委員会から社団法人として認可されました。

紀州犬は、紀伊半島特産の日本犬であり、その歴史は非常に古く縄文式文化の時代から、私たちの祖先とともに暮らしていたらしいことは骨格の発掘で証明されています。

また、弘法大師と縁の深い犬としてもよく知られています。

紀州犬はこのように古い歴史をもった純粋の日本犬であり、猟犬として、また家庭犬として、犬族の中でも特にすぐれていながら、原産地としての特別な保護策もなく、放任に等しい状態で今日におよんでいます。

そのなかにあって愛好者による小さな保存団体が数年前からえいえいと努力を続けていたことが実を結び、このたびの「社団法人天然記念物紀州犬保存会」の設立となったものです。

この会は、紀州犬の犬籍登録、先祖を証明する血統書の発行、資質改良のために展覧会の開催など、世界に唯一の単犬種登録団体として紀州犬の育成事業を行なっていきます。

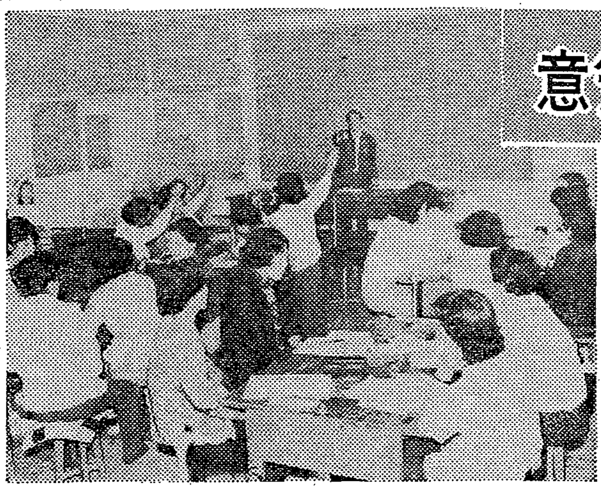
現在、かなりの頭数に増殖されてきた紀州犬ですが、戦前にみるような純粋の体型と性能を備えた犬はほとんど見られなくなりつつあります。

昔にまさるすぐれた紀州犬を再興し、後世に伝えましょう。

意気あがる農業婦人

桃山町農村婦人研修所

見覚えから学ぶ農業へ



質問や意見も活発……研修風景

"三ちゃん農業"とか"ママさん農業"とか呼ばれているように最近の農業は、農家の主婦の力によってささえられているといって言い過ぎではありません。それだけに農村婦人みずからも農村における"新しい波"と真剣な態度でとりくんでいます。その姿を那賀郡桃山町の農村婦人研修所にみてみましょう。

桃の産地で名高い桃山町は、桃のほか水稲、みかん、かき、苗木、すいかなど、豊かな作柄を誇る県下屈指の農業地域です。

だが最近、男の労働力が現金収入の方にふり向けられ、農業の方は主婦まかせという傾向が目立ってきました。昨年九月、農業経営学の研究家でもある町長さんの発案で、農村婦人研修所が開設されました。これは、いまや農業のにない手となっている婦人層に、より知識的な農業をやってもらおうという試みからです。

『第一回農業婦人研修所』は、はじめ五十人一学級の予定で募集しましたが、応募者が多く、計画を変更して二学級で発足。現在八十四人のママさん生徒がここで勉強しています。

◎　◎　◎

農繁期をま近かにひかえた五月のある日、役場の会議室と小学校の教室を利用して研修所が開かれていました。

野良仕事の忙しくなったせいで数人の欠席者がありますが、二ヵ所の教室には七十人ほどの婦人たちが講義を受けています。

遠い部落からやって来た若い婦人、主人とこどもを勤めと学校に送り出し駆けつけた中年の主婦、みんなの表情には学ぶことの楽しさがありありとみてとれます。

会議室の方の教室では、おりから、そさいの講義の時間。肥料のことや消毒のしかたなど、話している講師は地区のそさい特技普及員の方です。

習ったことがそのまま実務とつながり、血となり肉となる問題だけに、聞く方も真剣なら話す方も熱がはいります。

◎　◎　◎

開所後九ヵ月、町内の反響も各家庭内の評判もたいへんよく、町当局では今後十年計画で全町農業婦人に研修を受けてもらう予定とのことです。

婦人たちも、いままでの見覚え農業から基礎知識の上に立った本格農業へ、そして新しい時代の農村婦人になろうと、熱意を燃やしています。

▽鳴滝団地公団住宅入居者募集

七月一日〜七日受け付け

募集戸数　二DK六十九戸、三K四十戸

住宅構造　鉄筋コンクリート五階建て、都市ガス、上水道完備

家賃　二DK毎月九千百円〜九千六百円　三K毎月一万九百円

なお、共益費として毎月約六百円必要

受け付け期間　七月一日〜七月七日

抽選日　七月二十日

その他　入居予定は十月上旬。

案内書は、県建築課、和歌山市住宅課およびもよりの県土木出張所（和歌山土木出張所を除く）にあります。

この募集は、県住宅供給公社が日本住宅公団から委託を受けて行なうものです。

▽計画貯蓄を進めよう

六月一日〜三十日貯蓄増強特別運動

みなさん貯蓄しましょう。

「明るい社会を育てる貯蓄」

ボーナスや農作物代金などは、ひとまず貯蓄を、そして家計簿をつけて合理的な生活設計と計画的な貯蓄につとめましょう。

わが家の家計簿体験談募集

内容　家計簿をつけ始めた動機や記帳上の苦心談、家計簿で発見したムリ、ムダなど、家計簿にまつわるどんなものでも結構です。

応募方法　四百字詰原稿用紙五枚以内、住所、氏名、年令、職業、家計簿記帳年数家族一覧表、最近三カ月の記帳内容のわかる簡単な表をそえること。

締め切り　八月二十日（当日消印有効）

入選発表　十月下旬、入選者に賞金、記念品を送ります。

送り先　和歌山県貯蓄推進委員会（和歌山市小松原通り一、県総務部地方課内）

▽調査にご協力ください

六月中旬から七月にかけて、次の三つの調査が行なわれます。

調査員が、各ご家庭や事業所に訪問して調査の記入をお願いしますから、県民の皆さんご協力ください。

なお、調査票の秘密は固く守ります。

住民実態調査

永久選挙人名簿作成のための選挙資格者および住民の実態を調べるものです。

調査日　六月二十日〜二十九日の予定

第八回商業統計調査

七月一日現在で、全国の商店、商社の構造、活動の実態を調査し商業振興施策の計画、推進の基礎資料などにします。

調査日　七月一日〜五日

第八回事業所統計調査

七月一日現在でわが国の産業構成をは握するものです。

調査日　七月一日〜五日

▽農薬事故をなくそう

六月一日〜三十日農薬危害防止月間

農家の皆さん、次のことに注意して、農薬事故を未然に防ぐようにしましょう。

①ホリドール、メタンストックス、フッソールなどは、個人で持っていることも使用することもできません。必ず指導員（農業、生活改良普及員のさしずで使うこと。）

②散布時は、ゴム手袋、マスクなどを着用し、素手、素足にならないこと。睡眠不足、妊娠、生理時は避け、体調を整え、朝夕の涼しいときに、二〜三時間ごとに他の人と交替で散布すること。

③作業後は、手足はもちろん全身を石けんでよく洗い、衣服を取り替えること。もし体の調子が悪くなったら、必ず医師にみてもらうこと。

④使い残りの農薬は、指導員のさしずを受け、安全な方法で処置すること。

⑤農薬は他のものと区別し、盗まれないよう必ずカギのかかる一定の場所に保管すること。

お知らせ

農薬による危害防止体験論文募集

農薬の共同防除は、危害防止にどのように役立っていますか。いろいろな体験談をお聞かせください。

応募方法　四百字詰原稿用紙十枚以内、住所・氏名・職業・年令を明記、県衛生部薬務課（和歌山市小松原通り一）あて郵送のこと。

締め切り　六月三十日（当日消印有効）

賞品　一等　一人　賞状、賞金　五万円

佳作　二人　賞状、賞金　一万円

その他　一人一編、応募作品は返しません。

入選発表は七月下旬

▽元教職員の方へ

昨年十月から元教職員の普通恩給が増額されましたが、このうち**昭和三十五年四月以降に退職された方は**、増額改定の請求をしなければなりません。

改定に該当するかどうかはそれぞれの方により異なりますので、個々の履歴書で検討しなければなりません。ご不審のある人は、とりあえず履歴書を次のところへ送ってください。

和歌山県教育委員会行政課共済年金係（和歌山市小松原通り一）

▽警察官募集

六月十二日採用試験

警察官の採用試験を六月十二日（日）に、和歌山、田辺、新宮、橋本の四市で行ないます。

受験資格　満十九才〜二十六才の男子で、高校卒業程度の学力を有するもの（学歴は問いません）

ただし、高校卒は十八才で受験できます。

待遇　月収約二万三千円

申し込み期日　六月十日まで

県下各警察署で受け付けています。

詳しいことは、近くの警察署か交番所でお聞きください。

▽自衛官募集

希望者は、もよりの市町村または自衛隊和歌山地方連絡部（和歌山市小松原通り電話二三一五二一六）へお問い合せください。

	応募資格	受付期間	入校(隊)
二等陸海空士	中学卒以上 満18—25才の男子	受験者希望の常時	毎月1回
幹部候補生	大学卒(見込み) 満26才未満男子	6月30日まで	42年3月下旬
防衛大学生	高校卒(見込み) 満18才〜21才男子	9月1日〜10月中旬	42年4月上旬
航空学生	同上	9月1日〜10月下旬	42年3月中—下旬
自衛隊生徒	中学卒(見込み) 満15才〜17才男子	9月1日〜11月中旬	同上

▽マトン（羊肉）料理講習会

県民のみなさんに輸入肉の正しい知識を知っていただくために、次のとおりマトン・ラム（子羊）の料理講習会を開きます。

日時　六月十五日午後一時

場所　和歌山市民会館

内容　マトン・ラム料理法の講演と実習ならびに試食会

なお、来場者にマトン肉を無料進呈

電話番号変更

【医大付属病院】

新番号(三一)二一五一（代表）〜二一五八

ふるさとの話　粉河寺縁起

いまから千二百年ばかり昔のこと、孔子古（くしこ）という武士がありました。毎日那賀郡の風猛山(かざらしやま)に鳥や獣をとりに出かけ、夜もイノシシやシカをうちに行きます。ある夜のこと眼を射るような光を見ました。不思議に思って追って行きますと、にじのようにその光りが遠ざかって行きます。幾夜もそんなことがくりかえされましたが、とうとうその光の出ている地をつきとめました。

これというのも深いご縁があって瑞（ずい）光を拝むことができたのである。その地にお寺を建て仏像をおまつりしたいと柴（しば）の庵（いおり）をむすびました。

その庵ができあがったとき、うるわしい若者の行者があらわれ、一晩あなたの家に泊めて欲しいとたのみましたので、むさぐるしい家でなんのもてなしもできませんが、それでよければお泊りくださいと答えると、喜んで泊りました。

翌朝出発するとき、行者はどんなことでも願いごとがあるなら助けてあげましょうといいます。孔子古は、いま建てた草庵にまつる仏像が欲しいといいますと、七日のうちにこの草庵の中で作ろうと約束しました。

七日目のこと、急いで草庵へ行きましたがそこにも行者はいませんでしたが、驚いたことに金色さんぜんたる千手観音仏が立っています。欽慕した孔子古は、夢中に観音さまの前にひれ伏し、涙を流して拝みました。これからというものは、孔子古は猟をすっかりやめ昼も夜も観音さまを拝みつづけました。これが粉河寺の起りだといわれます。

×

ここにまた次のような話があります。

河内の国の左太夫（さだゆう）という長者(大金持)のひとり娘が病気になり医者にみてもらってもよくならずだんだん重くなるばかりです。左太夫一家が悲しみに沈んでいますと、うるわしい童子の行者が来てお経をとなえ、ていねいに加持をしてくれました。その霊験（きげん）があらわれて娘の病気が全快しました。左太夫はたいへん喜んで家の秘宝を取り出しお礼をしようとしましたが、受け取ってくれません。では鞘（さや）付き帯一筋でもとさし出すと受けてくれました。せめてご住所をお知らせくださいと頼むと、紀伊の国那賀郡粉河寺と答え、立ち去りました。

左太夫一家はお礼に粉河寺をたずねてきましたが、どこにも寺は見えず、村人に聞いても知らないと答えるばかりです。山の中を迷い歩いているうちに白い粉を流したような川を見つけ、川ぞいにのぼって行くと小さな草ぶきのお堂がありました。日は暮れてしまったので暗いお堂の中で眠りました。夜中に仏前の灯明が自然にともり、お堂の中はまばゆいばかりです。ふと目をさまして左太夫が起きあがると観音さまの尊像が立っていて、そのみ手に鞘付け帯がかけられています。娘をお助けくださったのはこの観音さまだと知り、一家そろって奉仕することになったといわれます。

（粟栖安一）

観音仏を拝む孔子古と現存するクスの木

広報ガイド

	放送日	放送題	内容
テレビ【紀州アルバム】毎日テレビ 毎週土曜日 15・15〜15・30	6月4日・11日	「青年の家」と若者たち	南紀串本町潮岬の「県立青年の家」を訪ねる。
	〃18日・25日	県政は生きている(Ⅱ) 農業改良普及員	農業改良普及員のある一日の生活を紹介。
	7月2日・9日	療育園のこども	不自由な身体を治療しながら学ぶ少年の姿。
テレビ【紀州アルバム】四国テレビ 毎週日曜日 8・30〜8・45	6月5日・12日	「青年の家」と若者たち	南紀串本町潮岬の「県立青年の家」を訪ねる。
	〃19日・26日	県政は生きている(Ⅱ) 農業改良普及員	農業改良普及員のある一日の生活を紹介。
	7月3日・10日	療育園のこども	不自由な身体を治療しながら学ぶ少年の姿。
ラジオ 和歌山放送【県政の夕】	6月20日 20・40〜21・00	成人病をきく	県民皆検診を目標に県の衛生対策を語る。
ラジオ 和歌山放送【広報アワー】	毎日 12・30〜12・35（月〜土）	県民のみなさんに	毎日のお知らせとニュース

あとがき

ことしもまた梅雨がやってきました。人は勝手なもので、二日も降りつづけば"よく降る"といい、晴れた日がつづくと"一度降ればよいのに"とこぼしがち——しかしこの雨があればこそ、山も野もうるおい、樹々も茂り、作物も息づいているのです。そしてまたこの水が、飲料水として人間の生命を守り、また工業用水や水力発電となりすべての産業の根源となっているのです。

×　×　×

"山に美林あり"このことによって災害を防ぎ、水量を調整し、近代文明を生み出す源であるという山のもう一つの使命をおもい、この山々を眺めてみたいものです。